

MCR54S-B3/MCR54-DUAL

ユーザーマニュアル

マルチバンド
4ch/2chトウルレーダイバーシティ
レシーバー



rev.12 (reference FW 2.3.0)

Date: 07 November 2023

SAFETY INSTRUCTION

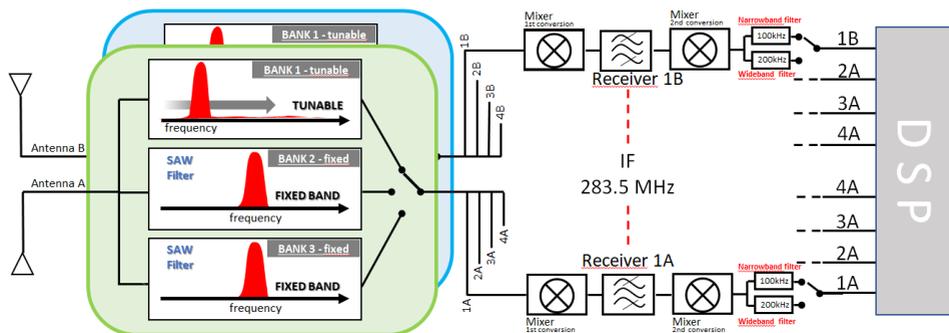
警告:この装置は業務用です。製造者は、装置のヘッドフォン出力が音圧レベルの85 dB(A)のレベルを超える可能性があることをユーザに警告し、これは聴覚にとって危険である可能性があります。ヘッドフォンを高出力レベルでまたは長時間使用しないでください。何らかの聴覚障害がある場合は、パワーを下げるか聴覚を停止してください。

MAIN FEATURES

- ・ハイコントラストのOLEDディスプレイとクイックマニュアル設定を可能にする4つのボタン

TECHNICAL DESCRIPTION

- ダイナミックなオーディオパフォーマンスと柔軟性のあるアナログ & デジタルプロセッサー
- 今までにない確実性と耐久性

RF layout:

アンテナA、アンテナBはそれぞれ4つのレシーバーにRF信号を分配します。
MCR54の3つのバンクは4つのレシーバーの周波数に従って選択されます。

	MCR54-B1 (UK)	MCR54-B2 (USA/EU)	MCR54-B3 (JP)
FILTER BANK 1:	470MHz~800MHzの範囲で32MHzで調整可能		
FILTER BANK 2:	961-1000 MHz	823-832 MHz	806-810 MHz
FILTER BANK 3:	1045-1075 MHz	940-960 MHz	1240-1260 MHz

注意: 選択する周波数は4chとも、同じバンクである必要があります。

4chすべてトウルーダイバシティレシーバーです:

それぞれのチャンネルのレシーバーは同じ周波数に設定されているレシーバーで構成されています。

100KHzまたは200KHzのフィルターによるチャンネルのレシーバーの選択後、ナローバンドまたはワイドバンドのトランスミッターに対し機能します。

各レシーバーは独自の復調信号と独自のRSSI(受信信号強度)を持っており、RFスケルチはダイバシティアンテナと音声復調の為にRSSI測定を利用します。

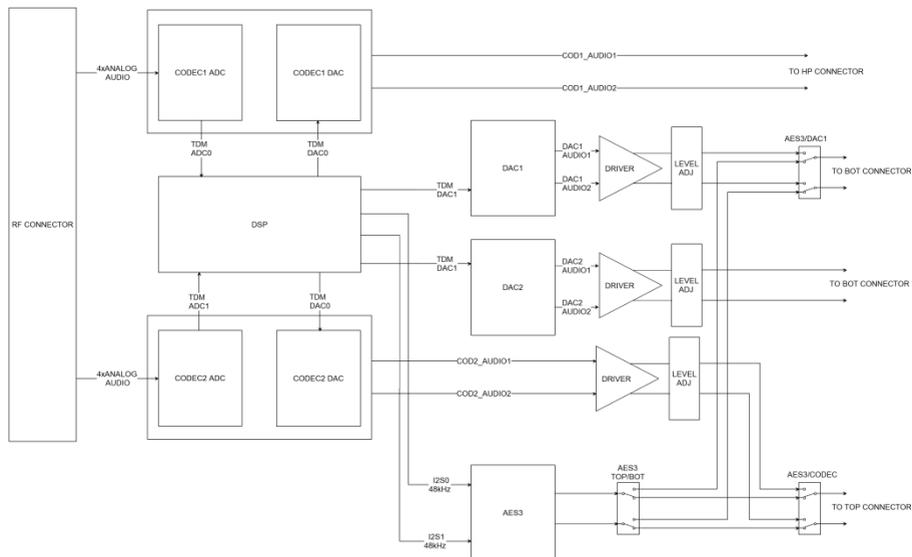
RSSIレベルについて追記として、各チャンネルはチャンネル品質を測定しています。

それは、RFスケルチより時間とともに異なるノイズフロアとトランスミッターの電波の品質を監視する強力なツールです。

ノイズスケルチと一緒に使用する事によりRFスケルチの設定をより低くセットすることができます。

A DSPはベストの音声の為に選択肢のAとBから選択と混合を行います

Audio Layout



上記の回路図のようにMCR54は以下の音声シグナルを供給します。

- ・ヘッドフォン: 3.5mmジャックよりアナログのモニター信号が出力されます。
メニューの”Setup>Headphone”により1ch~4chのいずれかのチャンネルをモニターすることができます。
ヘッドフォンのボリュームは0dB~24dBで1dBステップで調整できます。
- ・ボトム【メイン出力】: 4つの音声出力がレシーバー下部のコネクターに接続される出力アダプターにより構成されます。
出力のアサインは下の表の通りとなります。

SLK54 - IKSS/SX		BPA54			
CH1	CH2	Base # 1		Base # 2	
A1	A2	A1	A2	A3	A4
D1, D2	D3, D4	D1, D2	D3, D4	A3	A4

- ・トップ【AUX出力】: 2つの音声出力がレシーバー上部のTA5コネクターより出力されます。
AES3のデジタル出力もしくはアナログ出力となります。
※ボトム(メイン出力)をデジタル出力に設定している場合、トップ(AUX出力)はデジタル出力に設定することは出来ません。

TOP	
CH1	CH2
A1	A2
A3	A4
D1, D2	D3, D4

Product overview



1

2



1 GND
2 CHANNEL1+
3 CHANNEL1-
4 CHANNEL2+
5 CHANNEL2-

3

4

青点灯 Bluetooth接続時

5

128x96ピクセルディスプレイ

6

レーザーステータスのLED

消灯 — レーザーの電源がOFF

赤点滅 — 周波数レンジのフィルター外(3ページ参照)

赤 — RFレベルがスケルチより下回っている状態もしくはノイズスケルチがONの状態

緑 — RFレベルがスケルチより上回っている状態でアンテナAがアクティブな状態

青 — RFレベルがスケルチより上回っている状態でアンテナBがアクティブな状態

7

ヘッドフォン出力 (3.5mmジャック)

8

"PWR/EXIT" ボタン

長押しすると電源のON/OFFができます。電源ON時にセットした設定記憶されています。現在表示されているメニューをやめる際にこのボタンを押すとエスケープできます。

9

"MENU/SEL" ボタン

このボタンを押すとメニューに入ります。設定したいメニューで押すと設定が保存されます。

10

"▼/SCAN" ボタン

長押しするとSCANメニューが作動します。

メニュー選択時にこのボタンを押すとメニューが下にスクロールします。

11

"▲/SYNC" ボタン

長押しするとWISYCOMトランスミッターとの同期メニューが作動します。

同期を始める前にトランスミッターの"IRDA"をアクティブにする必要があります。

メニュー選択時にこのボタンを押すとメニューが上にスクロールします。

Display menu

メニューにて素早く、簡単に設定をすることができます。

-MENU/SEL、PWR/EXITボタンでメニューの階層を進んだり戻ったりできます。

-▲/▼ボタンで表示されている階層のメニューを移動できます。

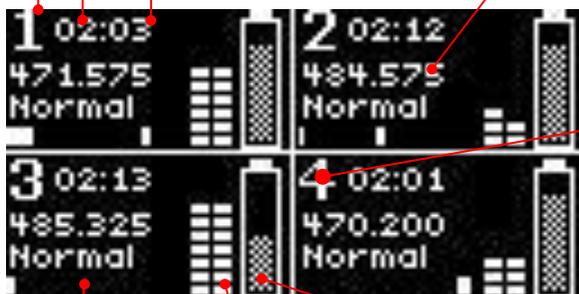
-設定を変更した場合はMENU/SELボタンを押し"SAVED"が表示されれば保存完了です。

Status screen

レシーバーの数字

グループ チャンネル

設定された周波数



注意

レシーバーの数字とLEDが赤く点滅したら周波数レンジのフィルター外です
(3ページを参照してください)

オーディオバー

-42dB~0dB

ピークデビエーション

≥56KHz

RFバー

8段階 10dBμVステップ

10dBμV ~ 80dBμV

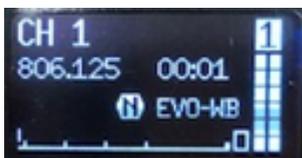
トランスミッターバッテリーステータス

Rotatory menu

4チャンネル分のステータスが表示されているメイン画面でSYNC/▲ボタンを押すと各チャンネルのステータスが表示されます。周波数とグループ、チャンネル、アナログのオーディオ出力レベルとデジタルのオーディオ出力レベルが表示され、この画面でSCAN/▼ボタンを押すとコンパウンダーとチャンネルモジュレーション(WIDE/NARROW)が表示されます



オーディオ出力表示画面



コンパウンダーとチャンネルモジュレーションの表示画面

各チャンネルのステータスが表示されている画面でMENU/SELボタンを押すと

周波数設定メニューに直接アクセスすることが出来ます。

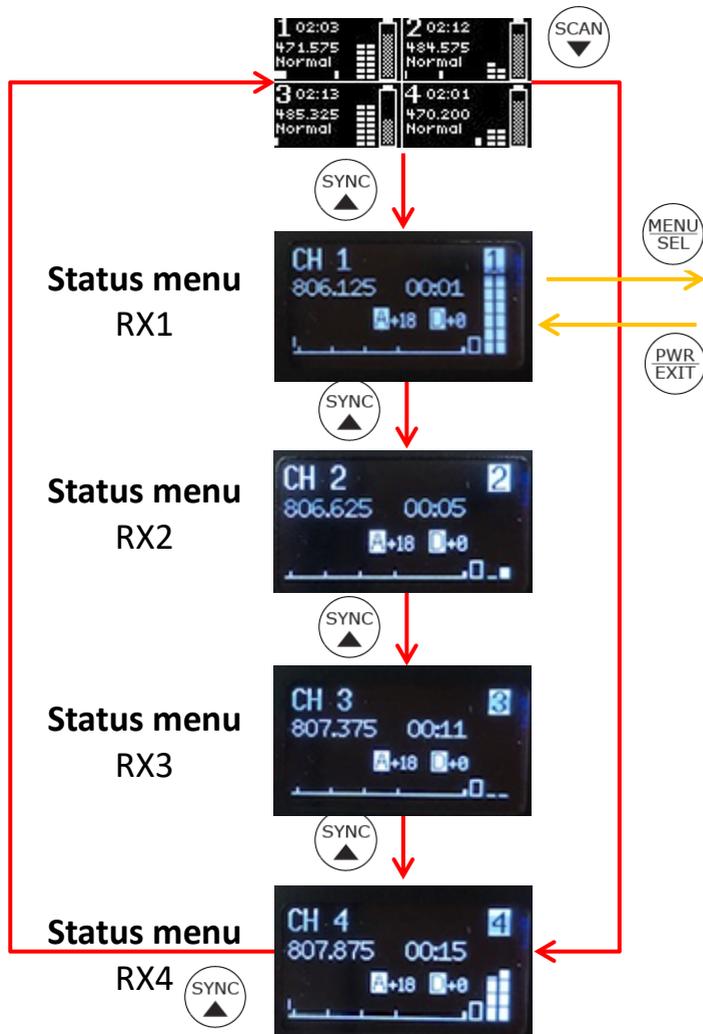
チャンネル、グループ、周波数を設定変更してMENU/SELボタンで保存してください。

※B帯域はグループとチャンネルの組み合わせで周波数を設定してください。



Status menu

4 RX



Tree menu

Menu	Active	
	Preset	Load U01-Preset1/U02-Preset2/U03-Preset3.... U16-Preset16
		Save U01-Preset1/U02-Preset2/U03-Preset3.... U16-Preset16
		Factory
	Edit RX1	
	Edit RX2	Name/ Freq./ Ch. Mod./ Compand/ Sq. mode/ Audio/ Sync
	Edit RX3	
	Edit RX4	
	Settings	Active RXs/ BT/ Audio Route/ Headphones/ Display/ Act. code/ Panel lock/ fn menu
	Scan	Scan now/ Squelch/ Button/ View last
Info	Supply/ Model/ Serial/ Range/ Antenna/ Base/ HW/ FW/ Diag./ Alarms	

Preset:

プリセットメニューは下記の4つのサブメニューを有します

- **Active:** 現在有効になっているプリセットネームを表示します。
- **Load:** 保存したプリセットを呼び出します。
- **Save:** 現在のステータスをプリセットに保存できます。(16個まで)
- **Factory:** 工場出荷時の設定を呼び出します。

Edit RX1÷RX4

各チャンネルのレシーバーの設定を行います

Edit RX1/RX2/RX3/RX4	Name	"12 characters max"		
	Frequency	Group / Channel and Frequency selection		
	Ch. Modulation	Wide/ Narrow		
	Compander	ENS Wisy/ ENC Wisy/ ENR Wisy...		
	Sq. mode	User/ Normal/ LongRange		
	Audio	AES level	0 to -30 dBFs (1dB step)	
		Base level	18 to -24 dBu (1dB step)	
		Top level	18 to -24 dBu (1dB step)	
		PTT	No/Yes	
		PTT Base	T+, T-, T, OFF	
		PTT Top	T+, T-, T, OFF	
		Phase	0/180	
		Cal. Tone	Cal. Tone	OFF/ON
	Frequency	400/600/1000 Hz		
	Level	-30 to 0 dB (1 dB step)		
Sync	"Active automatic sync with a transmitter"			

Name

各チャンネルの名前を設定を行います(12文字まで)

Frequency

レシーバーの周波数をグループとチャンネルの組み合わせで設定することができます。
グループとチャンネルの設定が無ければ周波数(MHz)で設定します。

Ch. Modulation

トランスミッターの変調に合わせてナローバンド、ワイドバンドに設定可能。
※B帯域での仕様の際はナローバンド(Narrow)に設定してください。

MCR54からSYNCで周波数を同期させた場合、トランスミッターのモジュレーションタイプ
(ナローバンドもしくはワイドバンド)もMCR54と同じタイプに自動的に設定されます。

Compander

MCR54は複数のコンパンダーを搭載しております。
JNS: ボーカルと音楽のアプリケーションの為に設計されたコンパンダーです。
MTP60、MTP61はJNSに設定してください

JNR-Wisy: ノイズリダクションが最大に設計されたコンパンダーです。

JNC-Wisy: 最高の音声忠実度に設計されたコンパンダーです。楽器や特別なヴォーカル用途に使用してください。
JNR-Wisy、JNC-WisyはMTP40、MTP41、MTB40使用時に設定してください。

ENR-1.2/ENC-1.2:

様々なカメラ(Canon® C300, Canon® XF305, Sony® Pmw200, Sony® Pmw300, Sony® PmwF5, Sony® Fs7, Nikon® D600 or Nikon® D800, Canon® SD mark3など)

と一緒に使用する際、ダイナミックを減らした信号を扱います。このタイプのエキスパンションは信号へ人工的な加工音なくノイズの少ない信号を扱うことができます。

(ENR/ENCスタンダードと比べて)オーディオ品質を損なわずにS/N比が15dB向上します。

これらのエキスパンダーを使うには、トランスミッター上のENRとレシーバー上のENR 1.2 を設定するか、トランスミッターのENCとレシーバーのENC 1.2 を設定する必要があります。ENR-1.2はノイズへ、ENC-1.2は高音質へ適正化されています。

NOTE: コンバンダーはトランスミッターとレシーバーは同じコンバンダーに設定する必要があります

MCR54のコア、それは最高の音声品質とプロフェッショナルマーケットのほとんどのワイヤレスのコンバンダーをエミュレートすることができる柔軟性を持っているデジタルオーディオプロフェッサーです。

Sq. Mode

スケルチモードはノーマル、ロングレンジの2パターンの構成があります。

各設定の設定値は以下の表の通りとなります。

	FIXED PARAMETERS				
	RF squelch [dBμV]	Noise Squelch [dB]	Squelch ON delay [ms]	Tone squelch	TSQ delay [ms]
Normal	6	11	0	ON	500
Long Range	3	8	0	OFF	500

追記: エキスパートユーザー向けとして、第3のスケルチ設定"User"がございます。

WISYCOM Manager上で各パラメーターを設定することができます。

	VARIABLE PARAMETERS				
	RF squelch [dBμV]	Noise Squelch [dB]	Squelch ON delay [ms]	Tone squelch	TSQ delay [ms]
User	OFF/0/3/6... /46	From 8 to 25	0 to 2000	ON/OFF	0 to 2000

RFスケルチ:

設定されている周波数の電波信号がスケルチ設定を下回った場合音声をミュートします。

ノイズスケルチ:

RFスケルチより時間とともに異なるノイズフロアとトランスミッターの電波の品質を監視する強力なツールです。ノイズスケルチと一緒に使用する事によりRFスケルチの設定をより低くセットすることができます。

トーンスケルチ:

デジタルトーンスケルチを発生させることによりWISYCOMのトランスミッターを検知します。トーンスケルチがONになっている場合、トランスミッターからのトーン信号が検知されない場合音声をミュートします。トーンスケルチはRFスケルチより低いレベルで作動します。

Audio

オーディオ出力レベルを設定できます

- デジタル AES3: 0dB ~ -30dB (1dBステップ)
- アナログ BASE (BPA54/BCA54): 18dB ~ -24dB (1dBステップ)
- アナログ TOP: 18dB ~ -24dB (1dBステップ)

PTT

トランスミッターのPTTボタン(Push To Talk)が押した場合や離れた場合の音声出力の状態を設定することができます

	T	T+	T-	OFF
PTT PUSHED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PTT RELEASED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[X] "X"が表示されている場合、音声出力は有効です

[]:"X"が表示されていない場合、音声出力は無効です

Phase

音声の位相を0度もしくは180度に設定します

Cal. Tone

Cal. Toneを有効にすると、レシーバーの出力からキャリブレーション・トーンが送られ、RXのオーディオLEDが青色になります。

(Cal. Toneをオフにするには、メニューのEdit RX > Audio Out > Cal toneでOFFに設定します。)

レベルは-30dB～0dBの範囲で設定できます。
出力する周波数は400Hz/600Hz/1,000Hzに設定できます。

Sync

SYNC機能は赤外線を通じてレシーバーに設定されている周波数をトランスミッターに送ることができる便利な機能です。

SYNC機能を利用する前にマニュアルもしくはSCAN機能を用いて希望する周波数を各チャンネルに設定してください。

▲/SYNCボタンを長押ししてSYNCメニューを呼び出して、SYNCさせたいチャンネルをセットしてSELボタンを長押ししてSYNCをスタートしてください。

レシーバーの赤外線ポートとトランスミッターの赤外線ポートを近づけて下さい。SYNCが完了すると"Done!"と表示されます。



SYNCが成功しない場合(レシーバーとトランスミッターの周波数レンジが違っている等で)はディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

トランスミッターの"NAME"機能が有効になっている場合、SYNCが完了した場合、SYNCしたレシーバーのネームが表示されます。

Settings

主なパラメーターの設定メニューにアクセスします

Settings	Active RXs	RX1 RX2 RX3 RX4		
	BT	Power on	Yes/No	
		Pairing	Yes/No	
		Passcode	Yes/No	
		Reset Dev.		
	Audio Route	Base#1		
		Base#2		
		TOP		
	Headphones	Volume	-24 to 12 dB (1 dB step)	
		RX select	RX1/RX2/RX3/RX4	
	Display	Led mode	Full/Alarms/OFF	
		Brightn.	0/5	
		LOW	5/60 sec (step 5 sec)	
		OFF	10/120 sec (step 10 sec) / OFF	
	Act. code			
Panel lock	Yes/No			
fn menu	Audio/ActRX/BT			

Active RXs

各チャンネルのON/OFFを設定します

Bluetooth

Pairing: モバイルデバイス、タブレット等とペアリングを行います

Passcode: パスワードを設定します

Reset: 今までペアリングをしたことのあるモバイルデバイス、タブレットの履歴をリセットします

Audio Route

MCR54はベースとトップの2種類の音声出力を提供します
MCR54に搭載するリアパネルによって違うシナリオがあります

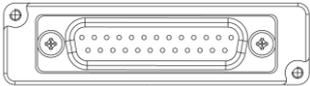
リアパネル:

- BPA54: スタンドアローンリアパネル
- SLK54-SX2: SONYカメラ用リアパネル
- SLK54-IK: Ikegami/Panasonicsカメラ用リアパネル
- MRK16: WISYCOM MRK16 16チャンネルレシーバーシステム

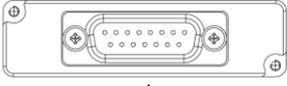
このメニューは音声出力のアナログもしくはデジタル(AES3)を設定することが出来ます。
BPA54を搭載した場合、デジタル出力はTOPコネクタ、BASE#1のどちらかが有効となり、1つのコネクタより4チャンネル分の信号が出力されます。アナログ出力に設定した場合はBASE#1からch1及びch2、BASE#2からch3及びch4の信号が出力されます。

TOP output		BASE#1 output		BASE#2 output	
					
CH1	CH2	CH1	CH2	CH3	CH4
A1	A2				
A3	A4	A1	A2	A3	A4
D1, D2	D3, D4				
A1	A2				
A3	A4	D1, D2	D3, D4	A3	A4

SLK54-IKSSを搭載した場合、デジタル出力はTOPコネクタ、BASEのどちらかが有効となり、1つのコネクタより4チャンネル分の信号が出力されます。アナログ出力に設定した場合はTOPはch1及びch2もしくはch3及びch4のどちらかを設定できます。BASEからch1及びch2の信号が出力されます。

TOP output		BASE output	
 <ul style="list-style-type: none"> 1 GND 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 4 CHANNEL2+ 5 CHANNEL2- 		<ul style="list-style-type: none"> 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 15 CHANNEL2+ 16 CHANNEL2- 	
CH1	CH2	CH1	CH2
A3	A4	A1	A2
D1, D2	D3, D4		
A1	A2	D1, D2	D3, D4
A3	A4		

SLK54-SXを搭載した場合、デジタル出力はTOPコネクタのみが有効となり、1つのコネクタより4チャンネル分の信号が出力されます。アナログ出力に設定した場合はTOPはch1及びch2もしくはch3及びch4のどちらかを設定できます。BASEからch1及びch2の信号が出力されます。

TOP output		BASE output	
 <ul style="list-style-type: none"> 1 GND 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 4 CHANNEL2+ 5 CHANNEL2- 		<ul style="list-style-type: none"> 2 CHANNEL1 3 CHANNEL2 	
CH1	CH2	CH1	CH2
A1	A2	A1	A2
A3	A4		
D1, D2	D3, D4		

Audio Route: MCR54-DUAL

MCR54-DUALは2chレシーバーでMCR54と同様の動作を有します。

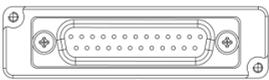
Audio routeは下記の表のとおり動作となります。

(BPA54のBASE#2には音声出力はアサインされていません。)

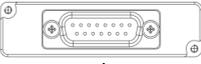
BPA54:

TOP output		BASE#1 output		BASE#2 output	
 <ul style="list-style-type: none"> 1 GND 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 4 CHANNEL2+ 5 CHANNEL2- 					
CH1	CH2	CH1	CH2	CH3	CH4
A1	A2	A1	A2	-	-
		D1, D2	-	-	-
D1, D2	-	A1	A2	-	-

IKSS:

TOP output		BASE output	
 <ul style="list-style-type: none"> 1 GND 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 4 CHANNEL2+ 5 CHANNEL2- 		<ul style="list-style-type: none"> 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 15 CHANNEL2+ 16 CHANNEL2- 	
CH1	CH2	CH1	CH2
A1	A2	D1, D2	-
D1, D2	-	A1	A2

SX:

TOP output		BASE output	
 <ul style="list-style-type: none"> 1 GND 2 CHANNEL1+ 3 CHANNEL1- 4 CHANNEL2+ 5 CHANNEL2- 		<ul style="list-style-type: none"> 2 CHANNEL1 3 CHANNEL2 	
CH1	CH2	CH1	CH2
A1	A2	A1	A2
D1, D2	-		

Headphones

このヘッドフォンメニューでは任意の1chをモニターする設定を行います。
ヘッドフォンレベルは-24dB～+12dBまで1dBステップで調整可能です。

Display

このディスプレイメニューではLEDの表示パターンやディスプレイの明るさ、画面表示のOFFまでの時間等の設定が可能です。

LEDモード:

- Full: すべてのLEDが常時有効
- Alarm: アラーム時のみLEDが有効(LEDは赤のみ)
- OFF: すべてのLEDが常時無効

Low timeout: Lowタイムアウトとは設定された時間まで何もレシーバーが操作されなかった場合自動的に画面が暗くなる設定です。
設定時間は5秒～60秒、5秒ステップで調整可能

OFF timeout: OFFタイムアウトとは設定された時間までレシーバーが操作されなかった場合自動的に画面が消える設定です。
設定時間は10秒～120秒、10秒ステップで調整可能OFFにした場合は画面が自動的に消えることはありません。

Act. code

このメニューでは認証コードを打ち込むとコンパクターが有効になります
※通常のコンパクターは既に有効になっております

Panel lock

パネルロックが有効の場合、デバイスのパラメーターをロックすることが出来ます
一部のメニューを除きパラメーターを変更することは出来ません

fn. Menu

このメニューではSCAN/▼とSYNC/▲を同時に押すことによりメニューのショートカットを割り当てる事が出来ます

- **Audio:** "Audio route"メニュー
- **BT:** "Bluetooth"メニュー
- **ActRX:** "Active Rxs"メニュー

Scan

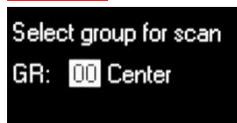
スキャンメニューでは以下のメニューにアクセスします

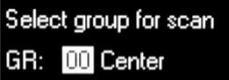
Scan	Scan now	Channels
		Freq.
	Squelch	OFF/0/3/6/9/12/15/18/21/24/28/32/36/40/46 dBuV
	Button	Channels/ Freq.
	View Last	

Scan now

MCR54はグループとチャンネルの組み合わせによるSCANと周波数によるSCANを選択することができます。メニューのSetup > Scan > Scan nowでチャンネルによるSCANか周波数によるSCANを選択してください。

Channels



Channel		<p>チャンネルでSCANをする場合、どのグループをSCANするか表示されますので使用したいグループを選択してSCANを行います。(MCR54にはB帯域のチャンネルグループがプリセットされています。) "GR00"をSCANするとB帯域全域の周波数状況をSCANします。グループを選択してSCANをするとグループの設定されている周波数のみSCANを行います。それによりSCANの時間が短時間で終了します</p>
		<p>グループを選択後、SELボタンを押すと”すべてのトランスミッターの電源をOFFにしてください”とアラートが表示されます。</p>
		<p>アラート表示後にSELボタンを押すとSCANが開始されます。</p>
		<p>SCANが終了すると状況の良い順番にチャンネルが表示されます。横の点線は現在設定されているスケルチレベルです。 ▲ボタンと▼ボタンを同時に押すと状況の良い順番ではなく、チャンネル順に表示が切り替わります。</p>
		<p>表示されている情報は以下の通りとなります。 -Ch: チャンネル -Freq: プリセットされている周波数 -Rank: SCAN結果の状況の良いランク -Lev: RFLレベル</p>
		<p>SCANが終了した画面で▲/▼ボタンを押すとチャンネルが移動します</p> <p>設定するチャンネルにてSELを押すと”Set to all”と”Set on”が表示されます。 Set to allを選択すると状況の良いチャンネル順番にをRX1～RX4に設定します。</p> <p>Set onを押し、選択したチャンネルをRX1～RX4のどれに設定するかを選択してSELを押して決定します。</p> <p>※SCAN後はSYNCでレシーバーの周波数を決定後、トランスミッターへのSYNCを行うことをお勧めいたします。</p>

Freq		<p>周波数でSCANをする場合、最小周波数と最大周波数を入力してSCANをおこないます。最小周波数と最大周波数のレンジは32MHzまでです。 SCANする周波数帯域を設定したらSELボタンを押します。</p>
		<p>アラート表示後にSELボタンを押すとSCANが開始されます。</p>
		<p>SCANが終了すると状況の良い順番にチャンネルが表示されます。横の点線は現在設定されているスケルチレベルです。 SCAN結果は1MHzステップで表示されますが、▲ボタンと▼ボタンを同時に押すと現在表示されている周波数がズームされ100KHzステップで表示されます。</p>
		<p>表示されている情報は以下の通りとなります。 -Freq: 選択されている周波数 -Lev: RFレベル</p>
		<p>SCANが終了した画面で▲/▼ボタンを押すとチャンネルが移動します。 設定するチャンネルにてSELを押すと”Set”と”Sync”が表示されます。 Set onを押し、選択したチャンネルをRX1～RX4のどれに設定するかを選択してSELを押して決定します。</p>
	<p>Syncを押すとRX1～RX4のどれをトランスミッターのSYNCするか尋ねられますのでRX1～RX4を選択してSYNCを行います。</p> <p>※SCAN後はSetでレーサーの周波数を決定後、トランスミッターへのSYNCを行うことをお勧めいたします。</p>	

Info

In the info menu the following information are displayed:

Info	Description	Example	
Supply	接続している電源のボルテージを表示します。	12.0 Volt	
Model	デバイスの型番を表示します。	MCR54	
Serial	シリアルナンバーを表示します。	10900174	
Range	周波数レンジを表示します。 (最小周波数と最大周波数)	470-960	
Antenna	設定されている周波数に対応したアンテナのキャップの色を表示します	BLACK	
Base	リアパネルに接続されているアダプターを表示します。 BPA54-SX BPA54 BPA54-IK MRK16 NONE	BPA54	
HW	Country	カンントリーコードを表示します。	EU
	Main rev.	メインボードのハードウェアのバージョンを表示します。	00.08
	Main opt.	メインボードのオプションを表示します。	-
	RF rev.	RFボードのハードウェアのバージョンを表示します。	01.02
FW	Panel rev.	パネルボードのハードウェアのバージョンを表示します。	00.01
	Version:	ファームウェアのバージョンを表示します。	v2.0
	BL:	ブートローダーのバージョンを表示します。	v.1.0
	DSP:	DSPのバージョンを表示します。	V1.1
Diagnostic			
Alarms	アラームの回数を表示します。 アラームの回数が一回以上の場合、SELボタンを押すとアラームリストメニューに入り、簡単な説明とエラーコードが表示されます。	0	

ACCESSORIES AND PARTS

BPA54: スタンドアローンソケット



Hirose HR10A-F

DC



1 GND
4 +VDC



1 GND
2 CHANNEL1+
3 CHANNEL1-
4 CHANNEL2+
5 CHANNEL2-



1 GND
2 CHANNEL3+
3 CHANNEL3-
4 CHANNEL4+
5 CHANNEL4-

SLK54-SX2: Sony用スロットインアダプター

Sony カメラ用アッパーフランジ+D-Subリアパネル

SUBD-15pin:

- 1 GND
- 2 CH1 Anal (unbalanced)
- 3 CH2 Anal (unbalanced)
- 4 VDC



注意:

すべてのSonyのカメラが内蔵ダブルピンが有効ではありませんので
使用になるカメラが2chサポートの場合は事前の動作チェックをお勧め
します。

NOTE:

*On SLK54-SX analogue outputs level can be set to
0dBu or -16dBu (with +18dBu on RX max level)*

*On SLK54-SX analogue outputs level can be set to
+2dBu or -16dBu (with +18dBu on RX max level)*

SLK54-IK: Ikegami Uni Slot™ & SOUND DEVICES SuperSlot™用スロットインアダプター

SLK54-IK対応機種

- SOUND DEVICES SL-2
- WIYCOM MRK16 MCR54 最大4台搭載のインターフェイス
- Ikegami, Panasonicカメラ



SUBD-25 pinout:

- 1 GND
- 2 CH1+ Anal/ CH1,2 AES3+
- 3 CH1- Anal/ CH1,2 AES3-
- 4 GND
- 5 VDC (6-18 VDC)
- 6 RX_ON
- 7 RX_WARNING
- 15 CH2+ Anal/ CH3,4 AES3+
- 16 CH2- Anal/ CH3,4 AES3-
- 22 UART from Wireless receiver
- 23 UART to Wireless receiver
- 25 GND

NOTE:

*when SLK54-IK is set to analogue outputs, the
level is attenuated of 16dB
(max anal. ouputs: +2dBu)*

BCA54:リチウムバッテリーパック付き
スタンドアローンリアパネル

- 2x mini XLR-5pin オス
音声出力
- 1x 外部バッテリー用
Hiroseコネクタ
- RRC2040用
バッテリーコンポーネント



CABLES

	<p>CAM50-3</p>	<p>音声分岐ケーブル TA5F-2xXLR3M 50cm</p>
	<p>CAM50-41</p>	<p>音声ケーブル TA5F-XLR3M 50cm AES3カメラ用ケーブル</p>
	<p>CDC34</p>	<p>外部電源用ケーブル HIROSE-先バラ 50cm</p>
	<p>PSP910-H</p>	<p>AC電源アダプター HIROSE仕様 入力:100V~240V 出力:12V@700mA,8W</p>

	<p>CAUSBC1</p>	<p>USBケーブル 1m USB-B to USB-C MCR54への電源供給及び監視、コントロール用</p>
	<p>CAP52-IK</p>	<p>スタンドアロンハーネス SLK54-IK (D-Sub 25ピン)用 2xXLR-3M(音声出力)+Hirose(外部バッテリー用) MCR54+SLK54-IK運用時、2チャンネルの アナログ音声出力もしくは4チャンネルのAES3音声出力</p>
	<p>CAP52-SX</p>	<p>スタンドアロンハーネス SLK54-SX (D-Sub 15ピン)用 2xXLR-3M(音声出力)+Hirose(外部バッテリー用) MCR54+SLK54-IK運用時、2チャンネルの アナログ音声出力</p>

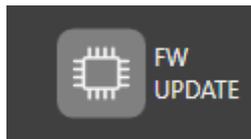
ANTENNAS

	<p>AWS-BK</p>	<p>ホイップアンテナ 470MHz~608MHz SMAコネクタ キャップ:黒</p>
	<p>AWS-YL</p>	<p>ホイップアンテナ 572MHz~694MHz SMAコネクタ キャップ:黄色</p>
	<p>AWS-GN</p>	<p>ホイップアンテナ 670MHz~870MHz SMAコネクタ キャップ:緑</p>
	<p>AWS-BL</p>	<p>ホイップアンテナ 820MHz~1,160MHz SMAコネクタ キャップ:青</p>
	<p>AWS-RD</p>	<p>ホイップアンテナ 1,060MHz~1,300MHz SMAコネクタ キャップ:赤</p>

	<p>AWS-BK-RA</p>	<p>ホイップアンテナ 470MHz~700MHz SMAコネクタ ー キャップ:黒 ライトアングルタイプ(L字)</p>
	<p>AWS-GN-RA</p>	<p>ホイップアンテナ 670MHz~870MHz SMAコネクタ ー キャップ:緑 ライトアングルタイプ(L字)</p>
	<p>AWS-BL-RA</p>	<p>ホイップアンテナ 820MHz~1,160MHz SMAコネクタ ー キャップ:青 ライトアングルタイプ(L字)</p>

How to update the firmware:

1. Connect the MCR54 to the PC through the USB-C cable
2. Check if the version of *Wisyscom Manager* installed in your PC is the latest version. If not, upgrade to the new version
3. Run *Wisyscom Manager*
4. Power up the receiver MCR54
5. Push **FW UPDATE** button
6. Download the .xupf file from the website and load the file using **FW library > Import** button.
7. Select the file
8. Select the receiver and Play



First the program erases the flash memory and later it writes the flash memory. A green bar below the panel shows the progress of this process. **Take care do not disconnect the USB communication or power off the MCR54 during this process.**

CONFORMITY

FCC Conformity

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

In compliance with

FC₄₇ CFR 15 Subpart B
CAN RSS-Gen/CNR-Gen
CE Ⓢ

ITALY ONLY

Obblighi di informazione agli utilizzatori

Modello di informazioni agli utenti dei prodotti di tipo "professionale"

INFORMAZIONE AGLI UTENTI

ai sensi dell'art. 13 del Decreto Legislativo 25 luglio 2005, n. 151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti"



Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura o sulla sua confezione indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti.

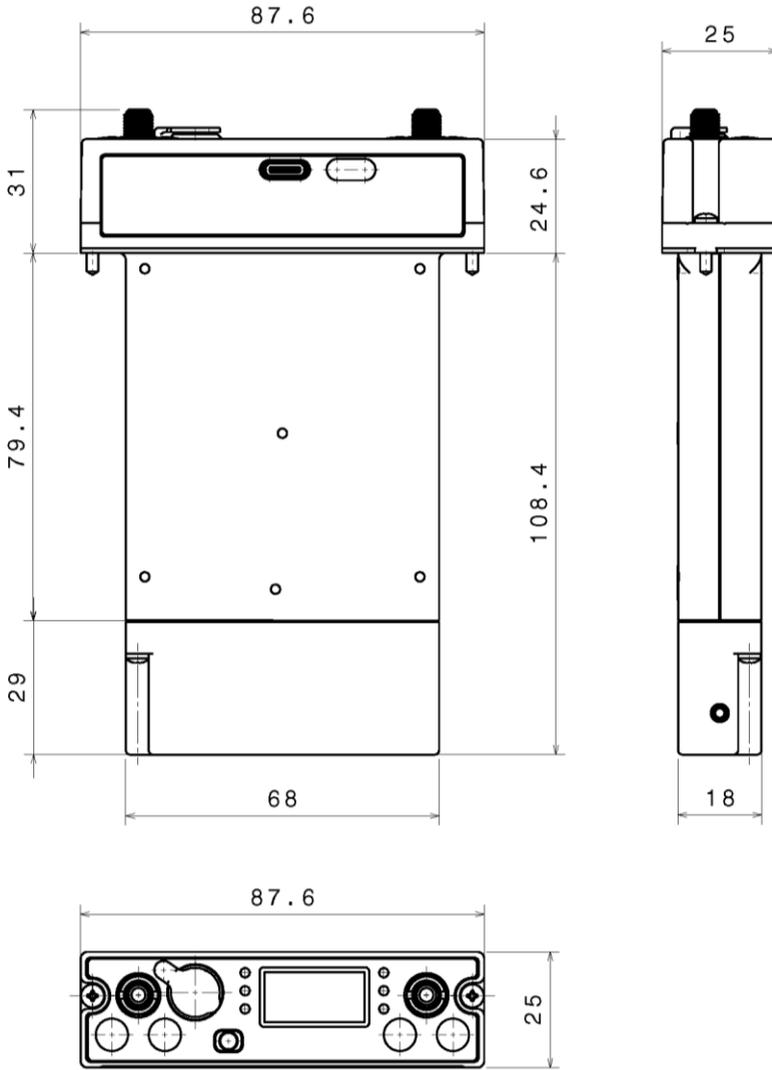
La raccolta differenziata della presente apparecchiatura giunta a fine vita e' organizzata e gestita dal produttore. L'utente che vorrà disfarsi della presente apparecchiatura dovrà quindi contattare il produttore e seguire il sistema che questo ha adottato per consentire la raccolta separata dell'apparecchiatura giunta a fine vita.

L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientalmente compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il reimpiego e/o riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura

Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte del detentore comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative previste dalla normativa vigente.

Iscrizione al Registro A.E.E. n. IT09100000006319

DRAWING



TECHNICAL SPECIFICATIONS

470MHz-800MHz、806MHz-810MHz、1,240MHz-1,260MHz
60チャンネル、40グループ
790MHz
5kHz最小ステップのマイクロプロセッサ制御周波数シンセサイザ回路
<±2.5ppm,in the rated temperature range
FM モノ、ワイドバンドもしくはナローバンドIFB (スイッチにて設定可能)
±54kHz(ワイドバンド設定時)、±40kHz (ナローバンド設定時)
50ohm SMA Type (SWR<1:2typ 1:1:4)
⇒2μV (6dBμV)、for SND/N >58dB
⇒5μV (14dBμV)、or SND/N >98dB
スイッチングウインドウ全体の中で
<0.5dB (for RF input signal 6dBμV-100dBμV)
>80dB Typical (チャンネルスペーシングが400kHz以下の場合)
<2nW (Typical = 0.1pW)
JNS-Wisy、JNR-Wisy、JNC-Wisy

30Hz-20kHz (ワイドバンド設定時)、30Hz-15kHz (ナローバンド設定時)
30Hz-19kHz内で±0.5dB (ワイドバンド設定時)
30Hz-13kHz内で±0.5dB (ナローバンド設定時)
0.3% Typical
120dB Typical (アナログ)
>125dB Typical (デジタル)
TA5メスコネクター 電子バランス
アナログ出力もしくはデジタル出力 (スイッチにて設定可能)
AES3 @ 48kHz
3.5mmジャック
USB-C、Bluetooth、UPKmini (オプション)
2色: 電源の状態とBluetoothのステータスを表示
4色: オーディオのステータスを表示
128x64ピクセルのOLED
外部電源: 5-18Vdc
内部電源: Smartbatteryにて駆動 (BCA54バッテリーモジュール装着時)
最大2.5W (4レーザー運用時)
-10°C ~ +55°C
110.4 x 87.6 x 25mm (H x W x D)
230g (MCR54)、285g (MCR54-Dual)



EU DECLARATION OF CONFORMITY

We,

WISYCOM S.r.l.
via Tiepolo, 7/E
35019 Tombolo (PD) – Italy

declare under our sole responsibility that the product

*Model
Description*

**MCR54-DUAL
Dual True Diversity Receiver**

conforms to the essential requirements of the following European Directives and their associated norms:

Directive	Applicable Standards	Description
RADIO Directive 2014/53/EU (RED)	EN 300 422-1 v2.1.2	Wireless Microphones; Audio PMSE up to 3 GHz; Part 1: Class A Receivers; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.2 of Directive 2014/53/EU
EMC	EN 301 489-1 v1.9.2	“ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1.(b) of Directive 2014/53/EU and the essential requirements of article 6 of Directive 2014/30/EU
	EN 301 489-9 v2.1.1	ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 9: Specific conditions for wireless microphones, similar Radio Frequency (RF) audio link equipment, cordless audio and in-ear monitoring devices; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1.(b) of Directive 2014/53/EU
Safety	EN 62368-1 2014	Audio/video, information and communication technology equipment — Part 1: Safety requirements (IEC 62368-1:2014, modified)
RoHS	EN IEC 63000:2018	Technical documentation for the assessment of electrical and electronic products with respect to the restriction of hazardous substances

Date: 8 November 2022

Enzo Frigo, Technical Director


WISYCOM S.r.l.
 Via Tiepolo, 7/e - 35019 TOMBOLO (PD);
 Tel. +39 0424 382605 - Fax +39 0424 382733
 sales@wisycm.com - www.wisycm.com
 P.IVA (VAT) / C.F.: IT 02765640244



EU DECLARATION OF CONFORMITY

We,

WISYCOM S.r.l.
via Tiepolo, 7/E
35019 Tombolo (PD) – Italy

declare under our sole responsibility that the product

Model

MCR54

Description

Quad True Diversity Receiver

conforms to the essential requirements of the following European Directives and their associated norms:

Directive	Applicable Standards	Description
RADIO Directive 2014/53/EU (RED)	EN 300 422-1 v2.1.2	Wireless Microphones; Audio PMSE up to 3 GHz; Part 1: Class A Receivers; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.2 of Directive 2014/53/EU
EMC	EN 301 489-1 v1.9.2	"ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1(b) of Directive 2014/53/EU and the essential requirements of article 6 of Directive 2014/30/EU
	EN 301 489-9 v2.1.1	ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 9: Specific conditions for wireless microphones, similar Radio Frequency (RF) audio link equipment, cordless audio and in-ear monitoring devices; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1(b) of Directive 2014/53/EU
Safety	EN 62368-1 2014	Audio/video, information and communication technology equipment — Part 1: Safety requirements (IEC 62368-1:2014, modified)
RoHS	EN IEC 63000:2018	Technical documentation for the assessment of electrical and electronic products with respect to the restriction of hazardous substances

Date: 8 November 2022

Enzo Frigo, Technical Director


WISYCOM S.r.l.
 Via Tiepolo, 7/E - 35019 TOMBOLO (PD)
 Tel. +39 0424 382605 - Fax +39 0424 382733
 sales@wisyc.com - www.wisyc.com
 P.IVA (VAT) / C.F.: IT 02765640244



Wisycom Srl
Via Tiepolo, 7/E
35019 Tombolo (PD) – Italy
Email: sales@wisycom.com
www.wisycom.com